

考えてみよう！



それぞれのことわざの意味を考えて、オリジナルことわざをつくってみよう！（下の空欄に書いてね！）
右の空欄にはイラストも描いてみよう！

取らぬ狸の皮算用

とらぬたぬきのかわざんよう



意 まだ捕まえていない狸の毛皮がいくらで売れるか計算することから、まだ手に入れていないのに色々と計画を立てること。

類 飛ぶ鳥の献立

能ある鷹は爪を隠す

のうあるたかはつめをかくす



意 狩りの得意な鷹が普段はその爪を隠しているように、すぐれた才能を持っている人はむやみにその才能をひけらかすようなことはしないということ。

虎の威を借る狐

とらのいをかるときつね



意 より大きな力を持つ者に頼って、まるで自分の力かのように威張る小者のこと。

喉元過ぎれば熱さを忘れる

のどもとすぎればあつさをわすれる



意 どんなに熱いものを飲んでも喉のあたりを過ぎてしまえば、熱かったことを忘れてしまうことから、どんなにつらいことや苦しいことでも、それが過ぎ去ってしまうと人は何事もなかったかのように忘れてしまうものだ。

飛んで火に入る夏の虫

とんでひにいるなつのむし



意 おろかにも、自分から進んで危険や災難にかかわり合うことのたとえ。明るく燃える火に集まってきた夏の虫が、自分から火に飛び込んで焼け死んでしまうことから。

覆水盆に返らず

ふくすいぼんかえらず



意 一度水をこぼしたらもう回収できないように、一度してしまった失敗は取り返しがつかないということ。

類 落花枝に返らず

寝耳に水

ねみにみず



意 寝ているひとの耳に急に水をかけるととても驚くことから、思いがけない出来事に出くわして驚くという意味。

類 足下から鳥が立つ

時かぬ種は生えぬ

まかぬねははえぬ



意 種は植えないと生えてこないように、何もしないではよい結果は得られないということ。

類 打たぬ鐘は鳴らぬ

対 果報は寝て待つ